



南高

進路だより

律・啓・創

HOP! STEP! JUMP!

8・9 月号

平成28年8月30日
福島南高・進路指導部

8・9月の行事予定

- | | |
|---|--|
| 24日(水) 就職推薦会議① | 15日(木) 第2回スタディ・サポート(2年)
センター試験出願ガイダンス |
| 25日(木) 全校集会・大掃除
課題テスト(1・2年)・授業(3年)
後期平常課外開始(3年) | 16日(金) 就職試験開始
福島大学訪問(1年) |
| 26日(金) 昇降口・服装頭髪指導 | 16日(金)～17日(土) 第1回ベネッセ駿台模試(3年) |
| 30日(水) あいさつ運動(～8/31) | 17日(土) 看護医療全国模試 |
| 9/1(木) レシテーションコンテスト | 20日(火)～21日(水) 交通安全指導・挨拶運動 |
| 進学推薦会議① | 23日(金) 進学推薦会議② |
| 2日(金) 進路希望調査② | 25日(日) 全商情報処理検定 |
| 8日(木)～13日(火) 前期期末考査 | 26日(月) 甲状腺検査 |
| 9日(金) 2学年保護者会 | 29日(木) 前期終業日・全校集会
第2回スタディ・サポート(1年) |
| 11日(日) 全商英語検定 | 30日(金) 学研第1回アンカー小論文(3年)
生徒休業日 |
| 13日(火) 小論文講習会(3年希望者) | 10/3(月) 衣替え |
| 14日(水) 国際理解セミナー | |

センター試験 1月14日まで
・・・あと**137日**

就職試験開始9月16日まで
・・・あと**17日**

限界を超えよ！

「天高く馬肥ゆる秋」と言われる季節になった。中国の故事で、秋になると春夏の牧草を十分に食べて立派に太った馬に乗って、北方の騎馬民族が秋の収穫を略奪しに来ることを指し、戒めとする言葉から来たものである。秋は収穫の季節、略奪を企む彼らは、夏の間に争いのためのエネルギーを蓄えていた。

君たちは秋のために、何を蓄えてきたか？「清々しい」という言葉がよく似合う季節である。勉強には最適の季節だ。

既に、自分の限界を決めている者がいる。自分の能力の限界が本当はどこなのか分かるはずもないのに、限界を決めると、自分が達成できる目標を下げることになる。失敗することも、成功することもある。「不安」「諦め」の感情に捕らわれて、自分の限界を自分で決めてしまうなど、少しも「清々しくない」。

1年生へ

夏休みが過ぎ、入学当初の「純粹さ」「決意」が薄れている。夏休みに何をして暮らしていたのか？課題テストをみていて、いつもながらにがっかりする。指定された課題があって、少なくとも、言われたようにやっていたら、課題テストはできたはずだ。能力ではない、意志の問題だ。

大学受験勉強はいつからだと思うか？3年や2年ではない。1年から始まっている。しかし、モチベーションが上がらない者もいるだろう。「2015ベネッセ・スタサポからの集計」によると、入学時は、国公立大合格者平均を上回っていた学習時間が、1年生秋口で極端に下がる。真理を追究する厳しく、豊かな学びを、時間をかけて継続すれば、結果は自ずとついてくる

1年で学習する基礎が一番大事なこと、そしてそれが入試に直結する。夏休み前は中学校の延長。夏休み後は高校の学習内容になる。自分の生き方・在り方について自己の思考と模索の習慣化が希薄な者ほど「墮落」への道を歩み出す。この秋の過ごし方に注意せよ。肥やさねばならないのは、精神である。3年後を見据えて今日を生きているか？例えば、国語は学習・思考の基礎である。聞いて、読んで理解する。国語ができないということは思考力が弱いということだ。

11月の進研模試を一つの目標にして、**基礎力の拡充**に努めなさい。そして、少なくとも、**得意教科の2~3**は今から作っておかなければならない。日本の受験は、英語にある。英語ができずに行ける大学はない。君たちはやればできると我々は考えている。しかし、「やればできる子」ですというのは、今「できない」子ということだ。自律には責任が伴い、自立には不安が伴う。**失敗は積極的に生きようとしているものしか体験できない**。学習を通してしか自己形成をせよ。

2年生へ

高校生活の後半戦に入った。「3年生になったら」などと言っていたのでは遅い。今の3年生も後悔を口にしてしている。夏休みに怠った時間を取りもどすには、数か月以上はかかるぞ。勉強ほど辛いものはない。しかし、**辛い生き方を選択**するからこそ強くなれる。勉強以外のところに「生きがい」を見出しても、来年には「後悔」しか味わえない。

君たちは今生きて在る。その青春のただ中にあるが故に、その時間の意味と重さを実体として把握できない。時間は失うと取り戻せない。青春時代だから、「何でもやってみよう」などという「誘い」には乗らない方がよい。**君たちの時間は有限だし、やるべきことが他にある**。

「1時間程度」の自宅学習で勉強していると言うのは「傲慢」すぎる。君たちは何に向かおうとしているのか？自分の足場を見てみたまえ。勉強には即効薬はない。もちろん、教室にただ存在していれば賢くなるというものではない。予習をして授業に臨み、復習して実力として定着させる「**地道**」な営みを続けるしか方法はない。自分で厳しい学習習慣が作れていない者は、今の自分から逃げないことだ。「遊び」の世界を南高は用意していない。高校は「**学びの場**」だ。

「ベネッセ2016年3月卒業生の成績推移」によると、2年11月模試から東北地区の高校生は成績を、一方的に下げていく。失望、落胆している暇はない。誠実に励め。

今すべきことは、志望校を諦めずに、**志望校との差を埋める努力**をすることだ。やればできるは、何もやっていないことの言い訳にしか過ぎない。君たちは全国の高校生と競争するのだ。

3年生へ

夏休みの成果がじわりじわりと出てきているだろうか？「不安」と「絶望」の中にいる3年生よ、**それでもなお前進**しようとする君たちの「姿」は、必ずや実を結ぶだろう。不安を乗り切るのは「**希望**」だ。健康に留意して、日々勉強せよ。最後は気力と体力が勝負になる。

受験で一流校といわれる高校には、それなりの**雰囲気**がある。今の南高にはあるか？放課後の教室は自習の熱気で満ちているか？職員室前には質問の列ができているか？3年生の教室前の廊下には「ピリピリ」した雰囲気が漂っているか？

7月ベネッセ記述をみると、英語は例年並みであったが、国語は例年よりも下がっている。入試は英語が要となる。理科・社会はこれからが集中して取り組む時期である。

浪人・部活動引退後の生徒がこれからスパートをかけてくるので、模試判定は下がり気味になる。苦しいが、**自分に負けずに学習**を続けるしかない。

難関大を目指す者はセンター後の2次対策も念頭に。そのためには、志望校を確定し、それに向かったの戦術が必要となる。志望校を変更した方がよい者もいるが、弱気になって指定校推薦に逃げるのは感心しない。一般推薦を利用して、志望校を狙うのも一手である。

大学は今、新自由主義的改革によって、スーパーグローバル大学指定、TOEIC 受験推奨など、経営合理化・グローバル化させられている。東大と京大に偏って膨大な資金を投入すれば、世界レベルの研究が生まれると考えているようだ。各大学は、世界最先端の学術成果を生み出すのか、産業界と相互乗り入れしながら技術

革新を目指すのか、地域活性化の拠点となるのか等を選択させられている。多様な出会い、時間的、経済的余裕など、失われつつあるものが多い。それに抗って、学生による自律的・自主的な学びの場を取り戻し、ものごとを根本的なところから批判的精神をもってじっくりと考える大学生になってもらいたい。それが我々教員の「希望」だ。

最後まで諦めずに地道にやり遂げたものが達成感を味わう。

<各種出願について>

すでに就職試験やAO入試などで出願が始まっているところもあります。10月以降には本格的に推薦入試が始まります。各種試験に出願する際には、様々な書類を期日に間に合うように準備する必要があります。できる限り自分で処理し、余裕をもって、担任の先生のところへ行きましょう。毎年いろいろなミスやトラブルが起こります。調査書の発行は遅くても、2週間前には担任にお願いすること。記入ミスの際に修正液を使ってはならない・出願締め切りは消印有効か必着か・写真や切手の貼り忘れは？・受験料の支払いは銀行か？郵便局か？など、注意することがかなりあります。細心の注意をはらって準備しなければなりません。

進学推薦会議日程

下記の日程で進学推薦会議を開きます。提出締め切り日を厳守するように気をつけてください。

<注意事項>

- ・国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、1つの大学・学部(学類)の学科・課程・専攻等に限りです。(一人1回だけです。)
- ・推薦会議で推薦が決定した者が辞退することは認められません。どのような理由にせよ、辞退した場合は、以後、学校からの推薦(指定・公募を含めて)はしません。
- ・1回の推薦会議に、2校以上を希望することは認められません。また、既に希望者がいる大学等に、割り込みをすることも認めていません。

	月 日	出願希望書 提出締切日	対 象 の 学 校	備 考
第1回	9月 1日(木)	8月25日(木)	出願開始日が9月中の学校	
第2回	9月23日(金)	9月16日(金)	出願開始日が10月中の学校	前期 期末 まで
第3回	10月 7日(金)	9月30日(金)	出願開始日が11月中の学校	
第4回	11月 4日(金)	10月27日(木)	センター試験を課す国公立大学 出願開始日が12月以降の学校	
第5回	12月 1日(木)	11月24日(木)	出願開始日が1月以降の学校	

就職試験の日程

8月31日(水) 担任へ履歴書提出

9月 5日(月) 学校から企業への生徒の応募書類提出開始
第1回就職模擬面接

8日(木) 就職希望者模擬面接最終指導

9日(金) //

※企業より就職試験についての通知を受け取ったならば、受験届を提出する。

16日(金)～就職試験開始

※受験終了後、受験報告書を作成し、担任を通じて、進路指導部に提出する。

※内定をいただいたら、礼状を作成し、担任の点検を受け、企業に送付する。

入社承諾書があればそれも一緒に送付する。

◎就職試験最終チェック ～ 下調べは万全かな？□にチェックしよう。～

○身だしなみ

- 服装は制服。正しく着用しよう。(9月中は夏服です。) アイロンをかけたたり、クリーニングに出して清潔にしておくこと。ワイシャツやブラウスは学校指定のものを着用する。靴も汚れていないものを。
- 靴下や下着を清潔に。(下着は白無地のもの。靴下のワンポイントも不可。)
- 黒のベルトをつけること。(男子)
- ワイシャツなど、袖も含めてボタンは全部きちんとなついているか。
- 髪はきちんとしているか。女子の場合、長い場合は束ねること。
- スカートの丈はきちんとしているか(女子)、ズボンの裾はほつれたりしていないか。(男子)
- 爪はのびていないか。(マニキュアなどもつてのほか) また**化粧は厳禁**。(眉毛なども細くしすぎない)

○持ち物

- 生徒手帳・筆記用具・メモ帳
- ポケットティッシュ・ハンカチ(地味なもの)
- 受験先から指定されたもの(印鑑など)
- 携帯電話・スマートフォンの電源はOFF。(マナーモードも駄目。試験中に鳴ったらまず不合格。)

○履歴書・求人票の内容や学校についての事項

- 志望動機の内容や部活動、係のことなどは質問されても答えられるようにしておこう。(履歴書のコピーは必ずとっておくこと)
- 求人票の記載事項についても一度確認しておこう。
- 校訓や生徒数など学校に関することはもう一度確認しておくこと(生徒手帳参照)
- 会社について聞きたいこと(質問)を1つ準備しておくこと

○試験場までの下調べ

- 集合時間までに会場に到着できるように、徒歩での所要時間や電車・バスの時間を調べておく。
- 事前に必ず下見をしておく。

進路資料室をもっと活用しよう!

進路資料室に新着本が入りました。特に、過去問を整理しましたので、活用してください。

